

くろつち便り

今月の内容

中馬美樹郎当選(4/24)／憲法記念日(5/3)／Series学校現場から⑦／ごてれつの独り言⑬／九条意見広告／野草折々52(アゲハ バツジ)／円安物価高／**次回の金曜集会は 6/3日/17:30〜**



↑会報QRコード

中馬美樹郎2期目当選

4月24日投票の鹿屋市議会選挙で、中馬さんは見事2期目当選を果たすことができました。

当選までの経緯を簡単にたどってみよう。

4月10日(日)支部で総決起集会。

松尾会長が中馬美樹郎を議会に送り出す意義、市政にとっての意義を述べた後、決意表明がなされた。

4月17日、告示があり、選挙戦の火蓋が切られた。

9時、天気上々、中馬陣営は地元川西事務所前の広場で出発集会。



松尾会長

中馬さんは、まだまだ志は道半ばまで行っておりません。ぜひ彼を議会に送ってもらいたい。

集会には、数十人が集まったほか、遠嶋春日見さんや柳誠子さんらも応援に駆けつけてきた。

2期目は、いのち・くらし、仕事・産業、子育て・教育、という3つの柱を中心に取り組んで行きたいと考えております。



続いて飯山さんの頑張ろう！三唱で会を閉じた。

② 全国に軍備が配備されては、こんな時こそ私達は踏ん張らないといけない！



4月24日、投票
1197票で、見事2期目の当選を果たすことができました。



経済格差の問題、空き家対策の問題、オスプレイ・無人探査機の問題など課題は山積しております。市民の皆さん一人ひとりの声を聞きながら、鹿屋が一步前進するように、1%の改革から大きな改革ができるように、頑張りたいと思っています。最後に、ロシア軍のウクライナ攻撃が一日でも早く終わることを願っています。☺中馬美樹郎！☺頑張ってください！どうかご支援よろしくお願いします。

1週間の闘いを頑張る抜こうと、決意新たに「団結、頑張ろう！」

川西事務所



当確の一報を受け、万歳三唱



教育会館で祝勝会

中馬さん、これからの4年間の取組を誓いました。(楯園)



学校現場からシリーズ その⑦



大黒小 関下俊郎

昨年引き続き大黒小勤務となりました。職員の入替わりは校長だけですが、支援学級解消のため定数減となりました。小規模校において職員数減はかなり痛手です。現に今年も空き時間が少ないため、毎日フル回転です。(4月も「へっとうんへっとうん」でした。)もちろん業務も増えるのですが、それより問題は出張が重なることです。毎回対応に苦慮している教頭の顔色も徐々に険しくなってきました。いくら出席の難しさを伝えても、市教委から返ってくるのは「特別な事情がない限り、何とか出席して欲しい。」というお願いの現場

からの「何とかして欲しい。」という要望は聞こうとしないのには押しつけは相変わらずです。とりあえず2年目の教頭と策を練りながら、「特別な事情」とやらを考えなければと思っ

ています。さて、今年も元気がいっぱい3・4年生を担任しています。3年生3人、4年生3人のクラスです。先日、3年生3人を連れてイチゴ狩りに出かけることになりました。イチゴというのは、今が季節の「野イチゴ」(正式はクサイチゴ)です。自然に囲まれた大黒小の近辺は野イチゴもたくさんなっています。しかし、そんなイチゴの存在を子どもたちは知らないのです。ましてや、食べられるものかどうかも...。(残念)早速食べられるイチゴとそうでないものを区別できるように事前学習をしました。裏門を出るとすぐに真っ赤なイチゴを発見しました。最初は担任が食べて見せます。恐る恐る口にす

大黒イズム：パト①



5. 3憲法記念日

1954年5.3の天声人語「さびれる憲法記念日」に、吉田内閣によって憲法九条が骨抜きにされたことを「既成事実さえ造れば潮が満ちて、第九条の舟は岸を離れて黒潮に流れ去ると見込んでいる」と例えている。船ではなくて舟と表現していることにも注意したい。

南日本新聞への意見広告が、九条を舟ではなくて少しでも堅固な船にしてくれることを願う。



九条を守る意見広告 円安・物価高

「九条の会おおすみ」で毎年もう一つ取り組んでいるのが

8月15日前後の「南九州新聞」に「憲法9条を守り、活かす」ための意見広告掲載

です。ただいま実施計画中ですが、この運動が続けられるためには、とりわけ「くろつち会」の各会員の協力が必要です。コロナ禍で集約が大変です。よろしくお願ひします。

募金額 1口500円
(団体1,000円)

経済のことはとんと分からないが、今の円安・物価高は、欧米が金融引締に舵を切っているのに、日銀は相変わらず金融緩和策を取っているからだという。

金融緩和と言え、アベノミクス第1の矢だ。故伊藤光晴氏によると、株主歓迎のその頃の株価上昇は菅民党政権からの流れだったので、安倍の成果でも何でも無い。

阿倍の成果だと勘違いした黒田総裁が、安倍に氣遣って金融緩和策を下ろせないのだろうか？ 謂わば今の物価高の元凶は安倍？

ぶつくさまの掛り言

13

■闘病記4 (女神様)

近くのくろつち会員で最近手術をされた会員もいたし、或いはこれから入院を余儀なくされる方もおられるでしょうが、どの病院にも女神様がおられるんだろうな。僕の場合は

というところ・・・カテーテル手首血管から管がゆっくり抜かれて、一連の処置がようやく済み、病室に運ばれた。後の点滴4本が終わったのは、就寝前だった。

ひと月前、病院に行くまでは、こんな台に上るはずではなかった。昨年のカテーテル治療で事は全て終わったと思っていた。所が病院に行くと言主治医から

「再び管を血管から入れないと細部で分からないことがあるんです」と言われ4月入院の運びとなったのである。

翌日退院前に主治医に「また一年後に来てください」と言われた。定期的受診は良しとして、再び管を血管に挿入しなきゃいけないのだろうか。そこまでは怖くて先生に聞けなかった。カテーテルはいくら挿入口に麻酔をしているとは言え、管が体の中を蠢く感触は不快で、決して気持ちのいいものじゃない。

退院手続きについて看護師N嬢から説明を受けた後、「また来年来るように言われたけど、また管の挿入があるのかねえ」

情けない、先生に聞けないのを看護師に聞くと。N嬢は入院して最初の担当看護師で、弾むような声で部屋まで案内し、3日間の計画も説明してくれたのだった。この明るさは患者への接し方の研修の成果などではなく、彼女の天性そのものなのだろう、と



その時思った。「いいえ、カテーテルはないと思います。」例の弾むような声で期待通りの返答を得て、不安感も吹っ飛んだ。「あなたが女神様に思えてきたよ」と言うと、看護師2年目だというN嬢の嬉しそうな表情が、マスク

の上からも見て取れた。
■70代の少年

前号でキオビエダシャク大発生予感の話を書いたが、近頃急に生垣のイヌマキに幼虫(無毒)が見られ、妻が毎日数十匹退治している。たまに成虫も見かける。

気温が上がると、大発生まちがいなしだ。

小犬の散歩のとき、虫取り網をもって出かけている。いい年して少年みたいで、ちょっと恥ずかしい。

見かけてもお笑いださるな。これも生垣のイヌマキを守るためです。(樋園)



野草折々-52-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

アケボノツツジ (ツツジ科)

春は曙 花は曙躑躅(あけぼのつつじ)
高隈や甫与志岳などで見られるアケボノツツジ

葉を展開する前に美しい曙色の花を咲かせる。

写真は2022年3月 垂水市刀剣山で撮影
私の友人(立久井さん)の提供